

2023年12月25日

各位

会社名 わかもと製薬株式会社
代表者名 代表取締役社長 五十嵐新
(コード: 4512 東証スタンダード)
問合せ先 広報室長 平井友行
(TEL :03-3279-0371)

VSY Biotechnology GmbH 社(ドイツ)製の多焦点眼内レンズ(開発コード:WP-2011) の製造販売承認申請に関するお知らせ

わかもと製薬株式会社(本社:東京、代表取締役社長 五十嵐新)は、VSY Biotechnology GmbH(本社:ドイツ、Managing Director: Andreas Kuehnel)から導入した多焦点眼内レンズ(開発コード:WP-2011)について、本日付で厚生労働省に医療機器製造販売承認申請を行いましたので、お知らせします。

国内において白内障手術は年間150万件以上行われており、眼科手術の中でも最も大きな領域のひとつです。白内障手術時に挿入される眼内レンズは、現行ほとんどが「単焦点」であり、「遠方・中間距離・近方」のいずれかしか焦点が合わないため、手術後は「補助眼鏡」の装着が必須となります。近年、複数の焦点を有する「多焦点」に世界的な関心が高まってきています。WP-2011 は最新の次世代型多焦点(3焦点)眼内レンズで、白内障手術後のQuality of Lifeの向上が期待できます。

VSY Biotechnology GmbH について

VSY Biotechnology GmbH は、シュトゥットガルト(ドイツ)に本社を置く、眼科と整形外科の分野を注力領域とするバイオテクノロジー企業です。同社は創業以来、「持続可能な革新と開発」を基盤とした同社の将来像と戦略の下、その魅力的なプロダクトポートフォリオをもって社会の健康に貢献することに取り組んでいます。

眼内レンズについて

ヒトの眼球において、カメラに例えるとピント合わせを担っている「レンズ」に相当する器官は「水晶体」と呼ばれます。水晶体はもともと透明ですが、加齢や他の疾患の合併症ならびに外傷などで混濁し、視力など視機能全般が低下する疾患が白内障です。白内障に対する有効な薬物療法はなく、手術によって混濁した水晶体を摘出して代わりに樹脂製の眼内レンズを挿入することにより視機能を回復させることが一般的になっています。

以上